

# ひきだし

## アフリカ・ケニアでの食事

大月 義徳さん (理学部支部)

この原稿の依頼が届いた時、赤道の街ナニユキに滞在していました。

日の出の方向に、氷河を抱くアフリカ第2の高峰ケニア山(5199m)を望む街。街はずれに赤道が通過する様子は、2016年1月コア(第253号)に少し記しました。ここを含むケニア内陸地域はキリスト教徒が多くを占めますが、ここ数年連続し滞在する安



ナイルパーチ やや小ぶりだが体長50cm以上

ケニアでの調査という、食事はどうなの、何を食べるの、と聞かれることが少なくありません。鶏(極めて美味)、牛(悪戦苦闘するほどに堅いことも多い)、ヤギ(若干苦手)、時に豚肉(ムスリムの人もいるので...)など、それぞれにおいしいのですが、ほぼ必ずあるもののひとつが魚料理です。ケニアはインド洋に面していますが、首都ナイロビ(比較的

インド洋に近い)を含むほとんどの内陸地域(ここナニユキも含む)では、海水魚ではなくヴィクトリア湖産の淡水魚、ティラピアやナイルパーチが頻々供されます。これらはヨーロッパへの輸出も盛んで、一部は日本の回転寿しなどで別の名前で出回っているとか。しかし、頭からじっくりと揚げたティラピアなどは、トウモロコシ粉を蒸かした主食のひとつ、ウガリ(やカチュムバリ・玉ねぎ、トマト、野菜等を和えたもの)の新鮮な味、しかし生野菜のため危ないことも)とともに、旧宗主国イ



ティラピア (約20cm) とウガリ、ビール

ギリスが製造指導したといわれるおいしいビールと絶妙な食事となります。とくに乾燥し喉の渇いた調査後の食事ではビールがとても楽しみで、現地の人々にも大人気です。これらは、もともとイギリス等からトラウトなどと共に持ち込まれた外来魚種で、結果として在来種が大幅に駆逐され、映画「ダーウィンの悪夢」に描かれる深刻な環境・社会問題を生み出している面も強くあります(ご覧ください、賛否両論もあり)。他方、当漁業は現在のヴィクトリア湖岸地域での主要生業をなしており、そうした複雑な事情に思いを馳せ食しつつ、明日の仕事に備える日々を送っています。

関西電力の信じがたい不祥事。このことで原発廃止へのカウントダウンが始まったという嬉しいコメントがあった。しかし、その思いは東日本大震災の時に思ったことなので、そんなに甘くない、日本の国民はのど元過ぎれば忘れるし長いものに巻かれる特技を持っている、運動を緩めてはいけないと肝に銘じている。それにしても、もりかけ問題、偽造文書問題等々、数え上げたらきりが無い。うやむやにしたままの重要な問題のなんと多いことか。私はそれらの真相を知りたい。(K・T)



台風19号が日本列島の広範囲に甚大な被害をもたらし、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。政府は被災地支援のため、まず7億1千万円支出することを決めたといいますが、一機、116億円のステルス戦闘機F35を105機追加購入するといえます。何をさておき被災地支援のために十分な予算を組んで欲しいと思います。編N

### 編集後記

11月2日(土) みやぎ教育のつどい  
11月4日(月・祝)  
憲法9条を守り生かす  
宮城のつどい2019  
11月16・17日(土・日)  
第64回はたらく女性の中央集会在宮城

### これからの日程

### 読者の声

真相を知りたい